

2020年もまもなく終わろうとしています。

もともとはオリンピック・パラリンピックの開催で、日本は賑やかな年と なるはずでした。しかし「新型コロナ感染症」が世界中に広まり、人々の日 常生活が制限される中、「命」「差別」「経済」「教育」など大切なことを考え なくてはならない年となりました。

「感染予防」としてのマスク・手洗い・消毒、換気、などは習慣となってき たように思います。

いろいろ制約される中でも、みなさんの協力で、日々の暮らしや介助を続 けていけることに感謝したいです。

オンラインでのミーティングが頻繁に行われるようになるなど、工夫も広 がっています。また、コロナ禍の中でも、宇多野病院に長期療養されていた 方が退院されて地域での暮らしを始められるなど、「希望」も見られました。

新型コロナ感染は、まだまだ終わらず、感染予防を続けていきながらの年 末年始を迎えます。それでも、これまで同様にみなさんで協力しながら、少 しでもよい年になるようにしていけたらと思います

本年は大変お世話になりました。

2021年もどうぞよろしくお願いいたします。

JCIL 小泉浩子



12月は石田久美さんの「こ ころとからだをすっきり!ヨ ガタイム」はお休みします。



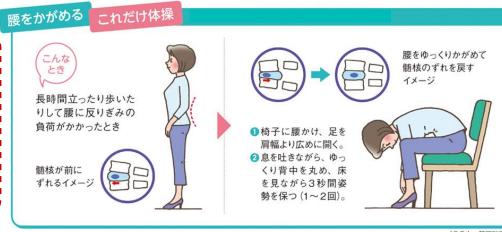


イラスト 種田瑞子

第35回 「国際障害者年」 連続シンボジウム

アマシゴ音音朝

「働くこと」や「生 きること」について考える

~「働く」ときの介護保障や合理的配慮と、

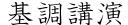
「生産性」優位社会について~

日時 12月19日(土) 13:30~16:30 場所 オンライン開催

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_0A1gbyJwSaSrOPLvVhoBag

今回のシンポジウムはオンラインセミナーサービスの「Zoom ウェビナー」で実施します。事前申込制のため、参加をご希望の方は上記の URL にアクセスし、入力フォームに必要事項を記入の上、「登録」ボタンを押してください。登録が完了すると直ちに入力いただいたメールアドレスに「ウェビナー参加用の URL」が送られてくるので、当日はそちらからご参加ください。(上記 URL は JCIL ホームページにも掲載します。)







木村 英子 氏 れいわ新選組 参議院議員







C-Lふちゅう代表用・労働・所得保障部日 国本 直樹 氏

中村 健太郎 氏厚生労働省職業安定局 雇用促進係長

ピープルファースト京都メンバー

木村英子さんや舩後靖彦さんなど、重度障害のある国会議員が誕生することで、就労中の重度訪問介護の利用が注目されました。就労時における介護保障や合理的配慮が未整備のため、未だ多くの障害者が「働くこと」への参入を阻まれています。障害のある人が働くために、どんな制度や条件があり、またそこにどんな課題があるか、これから一層議論され、明らかにされなくてはなりません。

一方で、「生産性」を重視するこの社会の価値観は、障害者のみならず、多くの健常者をも苦しめ、時に生産性がないとみなされた人の存在を否定するような痛ましい事件もたびたび起きています。だれしもが生きやすい社会を目指すためには、多様な「生き方」、多様な「働き方」が肯定され保障される社会にならないといけません。

今回のシンポジウムでは、24 時間介護が必要な重度障害者や難病患者、知的障害者などさまざまな種別の障害当事者の視点から、職場での介護保障や合理的配慮等をめぐる諸課題を考えると同時に、過度の「生産性」重視の価値観を見直し、多様な「生き方」「働き方」を肯定し保障していくためには今この社会や制度に何が求められるかを検討していきたいです。

【情報保障】要約筆記あり。点字資料・手話通訳ご希望の方は 12/10(木)までに下記へご連絡ください。 【連絡先】京都市南区東九条松田町 28 メゾングラース京都十条 101 日本自立生活センター(JCIL)気付 Tel: 075-671-8484 Fax: 075-671-8418 Mail: jcil@cream.plala.or.jp